



金魚の昼寝

廣島鳴秋 作詞
弘田龍太郎 作曲

おそく

1. あかいべべきたかわーい きんぎょ
2. あかい きんぎょは あぶーくをひとつ

3 3 3 2 | 1 1 6 6 | 5 5 1 2 | 3 2 3 1 0 ||
おめめをさまぜば うちそうするーぞ
ひーるねうとうと ゆめからさめた

1 赤いべべ着た
可愛い金魚
お眼々をさませば
御馳走するぞ

2 赤い金魚は
あぶくを一つ
昼寝うとうと
夢からさめた

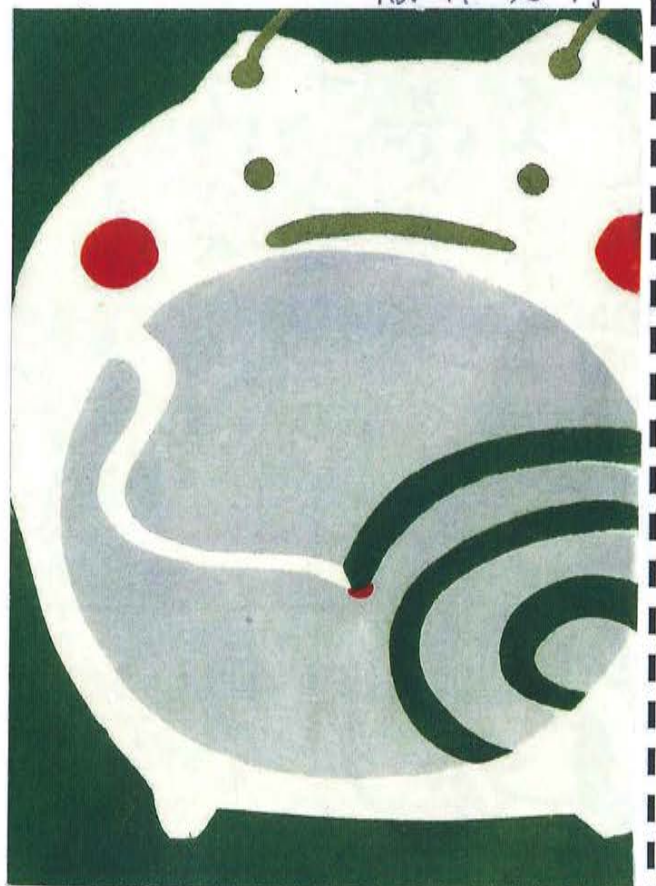
大正八年作曲



ひまわり
暑中お見舞
申上げます

Vol. 122

編者 中村建設(株)
四時市小古寺1-1-7
随月発行



社長のひとり言

その①

「幸せに生きる」

人は誰でも「幸せ」に生きたいと思っている。

しかし、現実社会は誰もが皆^{「概に」}幸福にまき

るようには出来ていない。では、どうすれば、

皆が幸福に暮らすことが出来るのだろうか？

私は住まいづくりを通して、人を幸福

に導く方法を、20年程前に「畠田辰雄」と

いう住宅取人の先生に本心からお教えを受け

ました事は、以前にの解らせて頂いております。

そのお教えとは、幸福になるには5つの条件

があり、それを住宅の向取りを考える時に

出来るだけ沢山組込むことが必要であると

言う内容でした。それは①家族が心身

共に健康であること②家族が安心・平和な生活を保てること③家庭経済に破綻を

きたさないこと④子供の躰がよく出来て子供が

繁栄すること⑤毎日快適な生活が続けられること

です。しかし、この条件を向取りに組み込んだら

けでは幸福に通じせる住まいは出来ません。

そこには、住まいづくりに参加する施主は元

より取人や会社(工務店)の人達が利他の心

と三方良しの心を持って造らなければなりません。

この人としての心掛けを持つ人が現代人には

少なくて来ているようです。その原因の一つ

が欧米社会から取り入れた、お金が儲ければ、それ

で良いと言う物質中心の考え方です。昔の

日本人は作り手と買い手が身近な存在で

作り手の苦味がよく理解できていたのですが、最近はその

事が流通と言う手段でも、そ

分かりにくくなり、どの様につく

れているかを知る機会が少

しいのが現状です。だから物を

買う時は、受けければ良しとする

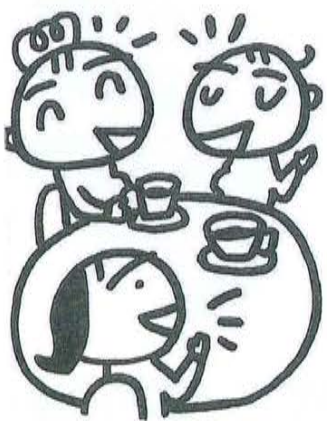
考え方が主流になって、います。

それが幸せに生きられない!

物に感謝できない!、そんな

心を作っているのでは無いでしょう

か(?) (H30.6.9 記)



社長のひとり言 その②

「融角について」

皆さんは五感について考えてみた事がありますか？五感は何がこの世界を体験する為に神から与えられたものかと考えています。最近思うことですが、この与えられたものを使わないのは実にもったいない。と言うか人間と不自然な状態にしてしまっているかと思っております。例えば融角ですが、人間は融れ合うことによって、心の安定を得ることが出来ます。特に乳幼児は母親の温もりを通して安心安全を感じとり、心のバランスが取れた人間に成長してまいります。

この乳幼児期の融角が不十分であると心に不安が残り、大人になって、その事と解消する行為に走り、時には人を追めるようなことが起こり得る事もあったり……又、自然を肌で感じるにも乳幼児期の過ごし方が大変重要になって来ます。

幼児期、少年期に虫やカエル、トカゲやヘビのような両棲類、爬虫類や鳥類、それに魚類、又、植物によって毒のあるもの、トゲの多いもの等、その動植物の感触や性質を知っていると知らないとは、大人になった時の自然や社会に対する応用がまるで違って来ます。今、社会では今だに学歴重視で、社会が動いていますが、人間の感覚で物を造る事が、必要の時代が又やって来ると思っています。

その時代の為にも、子供達に動植物に対して親と向き合って融れ、その生命の大切さを知らざる教育が必妥だと
 思っています。
 (H30.6.14記)



ちよつとお耳に入れておきたいお話し

バランス感覚を磨いて、しかも長持ち
下駄・布ぞうり

素足のまま、お持ち良く過ごせるシーズン。

ちよつと庭先へ、ご近所へとサンダル代わりに
重宝するのが下駄・板の台に鼻緒を

すげただけのミニブルな作りだから、みず
入れの向草。汚れは絞った雑巾で拭くだけ。

ゆるんだ鼻緒はすげ替えるだけで長く
愛用できます。足の指で鼻緒をぎゅつと

挟んで履く為、踏んづかる力やバランス感覚
と養うことも出来る。成長期の子供は

靴心とすぐお馴染みに慣れてしまうが、かかと
や指が多少けみみして、こ愛敬。長く履き

履ければ、物と大切にする習慣づけにもなる。

また、スリッパ代わりに便利と、平ぞり
布ぞうりやブーム、インターネット

作り方も紹介されていて、不要になった

Ｔシャツなどを捨てる前に再活用されて

いる方もいらっしゃる

(昭和のエコ暮らし)

「端居」……これの1つのエコ

夏季、室内の暑さを避けて、外気に融

れるため、又は庭の風景を楽むために縁

元に出ることを言います。クーラーや扇風

機などの冷房器具のなかった時代、暑さ

と凌ぐ庶民の知恵が感じられますね。

今や空中照明にエアコンは真夏の必須

家電とパワーツツあります。余程暑く日

がければ扇風機とうちわの併用で如何(?)



旬の野菜 おくら

夏のネバネバ野菜は元氣のもと。

おくらに含まれるネバネバ成分

は免疫力と高のたり、ストレス

で弱ったおぶかの調子を整えた

りてくれます。同じネバネバ

野菜の山芋と合わせて、味の

物などに、またカレーの具や、

バター炒めにも、下茹でして

冷蔵庫に入れておけば、マヨネーズ

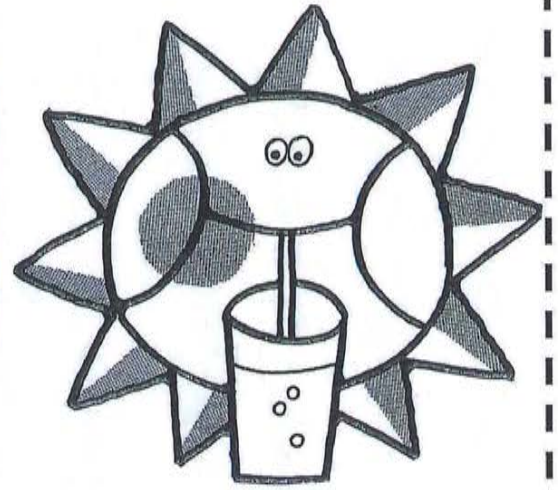
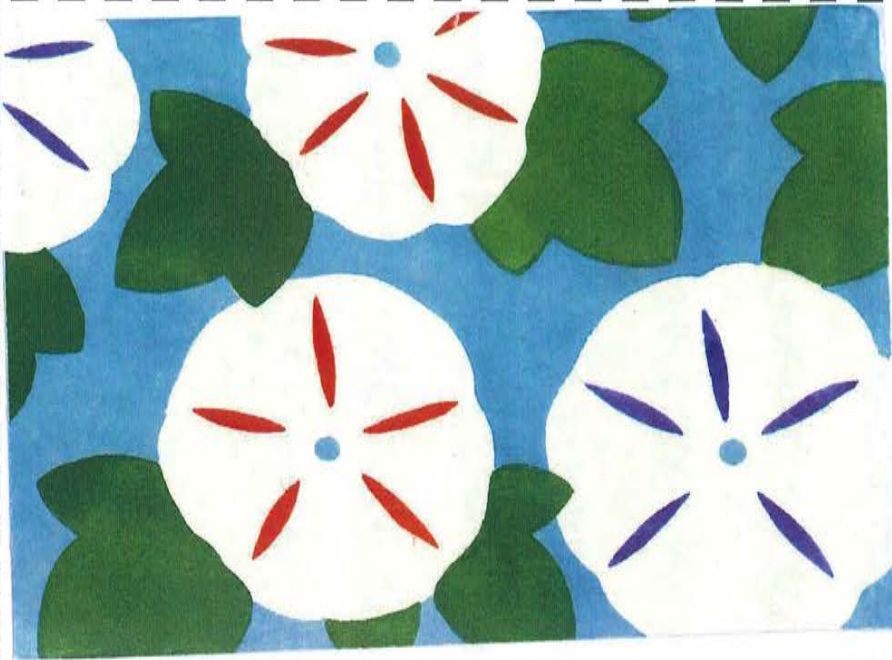
をつけてみじっぱり、刻んで薬味

にしたり手軽です。

又、冬瓜も身体と冷やして夏バテ

防止に、カリウムが比較的多く含まれ

利尿作用によるむくみ防止。ナトリウム
と体外に排出し高血圧予防が期待。
ビタミンCで日焼け対策も……



医者いらぬ よい住まい

湿気追い出す 夏の風

冷えから救う 冬の陽を

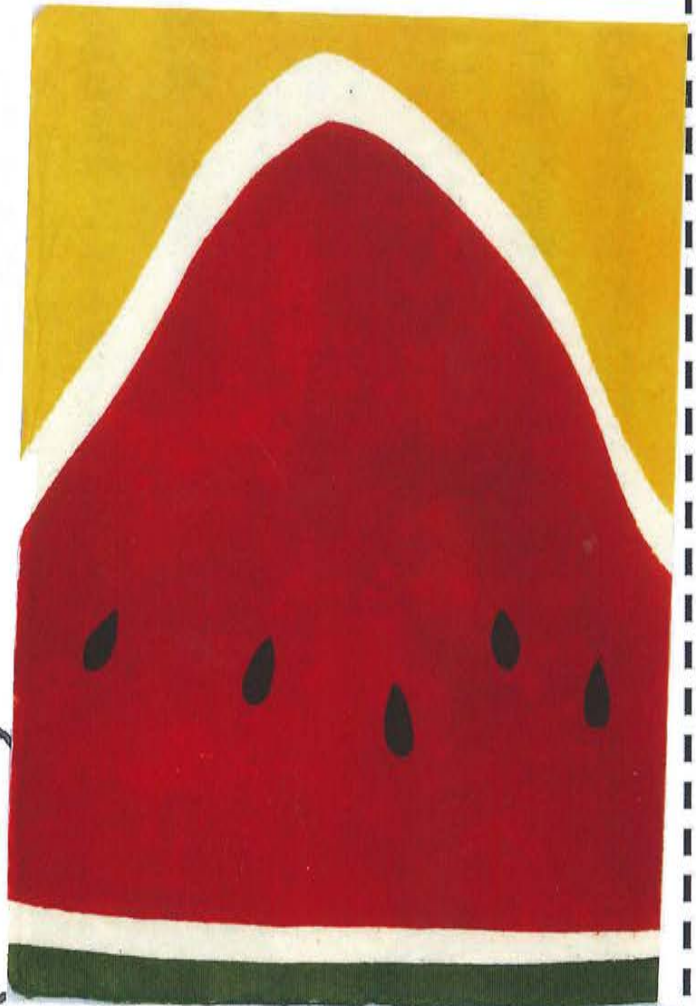
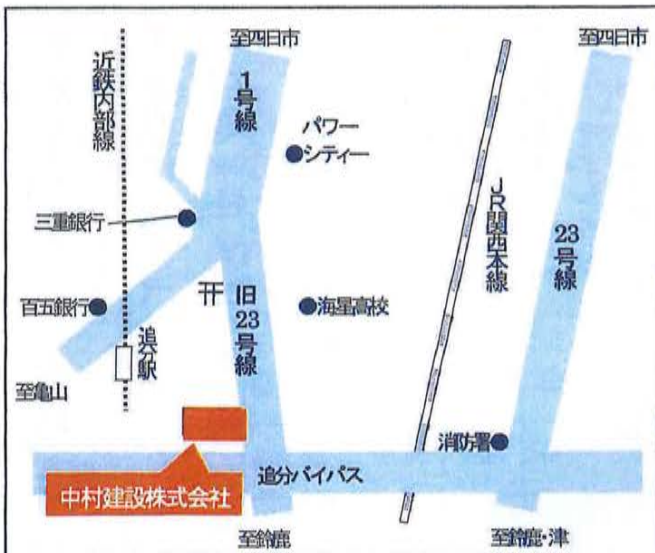
上手な利用で 幸を生む

家族と住まいと環境の勉強会

ホームー四日市教室 開催してます

幸せをもたらす住まいづくりの勉強会

(三重)ホームー四日市教室



NPO全国組織 内閣府認定
 幸せな家庭環境をつくる会 三重支部
 ホームースタディグループ (HSG)

〒510-0968 三重県四日市市小古曾1丁目1番7号
 TEL (059) 345-7726 FAX (059) 345-0745
 E-mail: info@nakamurakensetsu.co.jp